

高野山金剛峯寺 襖絵完成記念 千住博展

Senju Hiroshi: Commemorating the Completion of Fusuma Paintings for Kongobuji temple, Koyasan.

千住博は、岩絵具という素材や、自然と密接に関わっている日本画の理念をふまえ、世界的視野に立ち、今日にあるべき「美」を追求している画家です。本展では、千住博が画業40余年の集大成と位置付ける、世界遺産・高野山金剛峯寺に奉納する渾身の襖絵を国内外で初めて公開するとともに、これまでの主要作品を展示。現代に生きる日本画の新しい可能性を模索する、千住博の世界観を紹介します。



〈高野山金剛峯寺襖絵 断崖図〉(部分)2018年(高野山金剛峯寺蔵)



〈三春の滝桜〉2013年(軽井沢千住博美術館蔵)



〈朝に向かって〉1989年(軽井沢千住博美術館蔵)



〈月響〉2006年(軽井沢千住博美術館蔵)



〈上空の風(アリの空)〉2006年(軽井沢千住博美術館蔵)



画家略歴: 1958年東京生まれ。1982年東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業、同大学院後期博士課程単位取得満期退学。1995年第46回ヴェネツィア・ビエンナーレにて東洋人として初の名誉賞受賞。2007年フィラデルフィア「松風荘」の襖絵を制作。2011年「軽井沢千住博美術館」開館。2007-2013年京都造形芸術大学学長、現在同大学教授。2013年大徳寺聚光院に襖絵奉納。2017年イサム・ノグチ賞受賞。絵画のみならず、羽田空港やJR博多駅等のアートディレクション、数々の舞台美術も手掛ける。現在、ニューヨーク在住。

- 会期 2018年6月9日(土)～7月29日(日)
- 開館時間 9:30～18:00(入館は17:30まで)
- 休館日 毎週水曜日、7月17日(火)
- 観覧料
 - 前売・一般 1,000円
 - 一般 1,300(1,000)円
 - 大学生 950(750)円
 - 小・中・高校生は観覧無料
 - ※()内は20名以上の団体料金
 - ※企画展入場当日に限りコレクション展もご覧いただけます。
 - ※各種手帳をお持ちの障がい者の方および付添者1名の観覧は無料
 - ※学校観覧、社会教育活動としての児童・生徒の引率者は無料
- 前売券販売所(会期開始前まで販売)
 - 富山県美術館、富山県水墨美術館、北日本新聞社本社・支社、
 - セブンチケット、アツナビ、県内主要書店・プレイガイド

◎会期中のイベント

○千住博氏×伊東順二氏対談

演題「絵画の可能性」

第46回ヴェネツィア・ビエンナーレ(1995年)の日本政府館のコミッショナーとして千住博氏の「ザ・フォール」を世界的に紹介した伊東順二氏(美術評論家)と千住氏との対談。日本画の可能性や千住作品の魅力についてお話しいただきます。

日時: 2018年6月9日(土) 15:00～(約90分) / 会場: 3階ホール、定員120名(要「千住博展」観覧券、要整理券)

○学芸員によるギャラリートーク

(学芸員と一緒に展示室をまわります)

日時: 6月15日(金)、16日(土)、22日(金)、7月1日(日)、14日(土)、23日(月) 毎回 11:00～

会場: 2階展示室2・3・4 (要当日有効の「千住博展」観覧券)

※各イベントの詳細・申込み方法は北日本新聞紙面および当館ホームページをご覧ください。内容等は都合により変更する場合があります。



- JR富山駅新幹線 改札口(富山駅南口)から・・・
 - 徒歩: 約20分 / タクシー: 約10分
 - バス: 7番のりばより乗車、「富山県美術館」下車すぐ
 - あいの風とやま鉄道 改札口(富山駅北口)から・・・
 - 徒歩: 約15分 / タクシー: 約3分
 - バス: 1番のりばより乗車、「富山県美術館」下車すぐ
 - 富山空港より・・・タクシー: 約20分(渋滞なし) ※約9km
 - 北陸自動車道より・・・富山I.C.から国道41号経由: 約15分
- ※美術館の駐車場(8:00-22:30)は限りがあり、土日や祝日等は混雑が予想されます。お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用いただくか、満車の際は恐れ入りますが周辺駐車場をご利用ください。

〒930-0806 富山県富山市木町町3-20
TEL: 076-431-2711 FAX: 076-431-2712
<http://tad-toyama.jp/>